

## 施策6-1 市民によるまちづくり活動の推進と支援

### あるべき姿

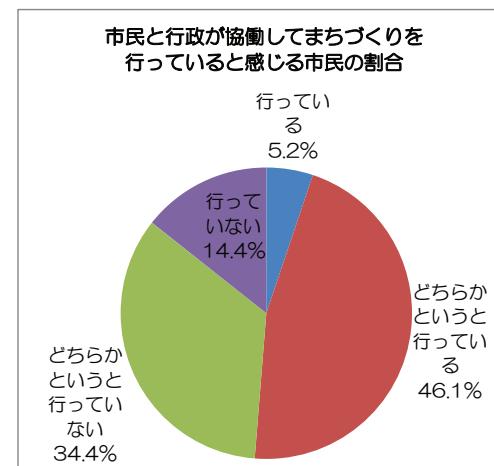
市民と行政が協働してまちづくりを行っています。

### 成果指標

指標名	現状値 (平成26年度)	目標値 (平成32年度)	説明
市民と行政が協働してまちづくりを行っていると感じる市民の割合	51.3% (平成27年度)	55%	まちづくりアンケートで「あなたは、市民と行政が協働してまちづくりを行っていると思いますか。」の問い合わせに対し、「行っている」「どちらかというと行っている」と回答した市民の割合です。
コミュニティ活動に参加している市民の割合	56.2% (平成27年度)	60%	まちづくりアンケートで「あなたは、自治会など地域のコミュニティ活動に参加していますか。」の問い合わせに対し、「参加している」「時々参加している」と回答した市民の割合です。

### 施策をとりまく環境変化と課題／施策の基本方針

- 自治会集会施設の老朽化と地域住民の減少、高齢化により、施設の維持管理が困難になってきています。このため、活動の拠点となる集会施設の整備を支援します。
- 少子高齢化の進行により、自治会などのコミュニティ活動が衰退してきています。コミュニティ活動の活性化を図るため、必要な設備の整備を支援します。
- 9割近くの市民がこの1年程度の間にボランティア活動への参加がなく、その内の約6割はボランティア活動に興味や関心を持っていないという状況です。市民からいかに関心を持ってもらい、参加してもらうかが課題となっています。
- 市民や市民活動団体などが行う公益的な活動を支援するとともに、それらの団体との連携によるまちづくり事業を展開します。
- 市内での買い物、ボランティア活動等により取得したポイントを市内商店・企業で利用できる地域通貨を普及させ、市内経済の好循環と市の魅力向上を図ります。



出典：まちづくりアンケート

### 基本事業

基本事業名	あるべき姿	指標名	現状値 (平成26年度)	目標値 (平成32年度)
1 コミュニティ施設の利用促進	コミュニティ活動の拠点が整備され、活発に利用しています。	コミュニティ施設（自治会集会施設）に対する自治会長の満足度	今後取得します。	現状値取得後に設定します。
		コミュニティ施設（自治会集会施設）が有効に使われていると感じる自治会長の割合	今後取得します。	現状値取得後に設定します。
2 自治会活動の活性化	自治会活動が活発に行われています。	活動が困難になっている行事がある自治会の割合	今後取得します。	現状値取得後に設定します。
		市民活動団体・ボランティア活動団体登録数（累計）	70 団体	100 団体
3 市民活動の活性化	地域活動や社会貢献活動を担う人材が育ち、コミュニティ活動を活発に行っています。	ボランティア活動に取り組む市民の割合 (平成27年度)	12.3%	15%
		市民活動団体・ボランティア活動団体との連携・協働によるまちづくり事業数	今後取得します。	現状値取得後に設定します。
4 ポイント制度を活用した地域の活性化の推進	地域通貨（ポイントカード）の流通により、地域が活性化しています。	地域ポイントカードの発行枚数	*****	3万枚
		地域ポイントカード加盟店数	*****	200 店

000

### 用語解説

協働：市民と行政が共通の目標達成のために連携協力する関係

## 施策6-2 生涯学習の充実

### あるべき姿

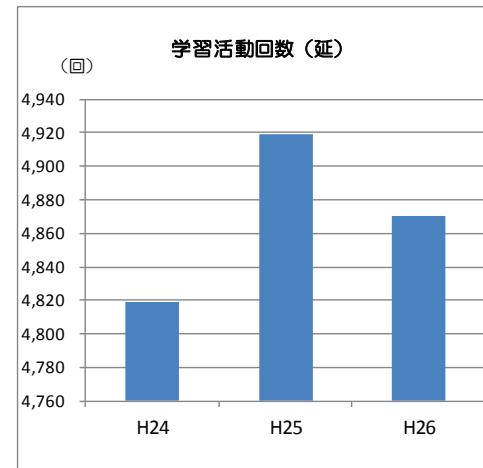
生涯学習に取り組み、豊かな人生を過ごしているとともに、学習成果を地域や社会に還元する市民が増えています。

### 成果指標

指標名	現状値 (平成26年度)	目標値 (平成32年度)	説明
生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合	13.1% (平成27年度)	15%	まちづくりアンケートで「現在、生涯学習活動に取り組んでいますか。」の問い合わせに対し、「取り組んでいる」と回答した市民の割合です。
学習成果を地域や社会に還元している市民の割合	9.0% (平成27年度)	10%	まちづくりアンケートで「生涯学習活動に取り組んでいる」と回答した市民のうち、「生涯学習で身につけたことを地域や社会に還元していますか。」の問い合わせに対し、「はい」と回答した市民の割合です。

### 施策をとりまく環境変化と課題／施策の基本方針

- 自主的活動を行う社会教育関係団体を育成するとともに、市民向け講座の開催など自らの学習成果を地域や社会に還元する活動を行う団体を支援します。
- 生涯学習施設利用者の増加を図るために、開館日や開館時間の見直しと学習メニューの充実に取り組みます。
- 生涯学習施設の整備を計画的に行い、安全かつ快適に利用できる施設環境づくりに努めます。
- 文化財の保護・活用、資源化につながる取組や総合資料館等の整備を検討していきます。



出典：生涯学習課調べ

### 基本事業

基本事業名	あるべき姿	指標名	現状値 (平成26年度)	目標値 (平成32年度)
1 主体的な学習活動の推進	市民の自主的・創造的な学習意欲が高まり、学習活動に参加しています。	市民主体の年間学習活動回数(延べ)	4,870回	4,967回
		社会教育関係団体認定件数	101件	104件
		事業計画に社会還元のための講座等を組み入れている社会教育関係団体の割合	73.3%	78.4%
2 学習機会の提供と生涯学習施設の利用促進	学習ニーズの多様化や高度化に対応した学習機会が提供され、参加しています。 活動の場が十分に確保され、安全かつ快適に施設を利用しています。	学習機会(テーマ・教室)が充実していると感じる市民の割合	7.7% (平成27年度)	10%
		生涯学習施設の満足度	83.2% (平成27年度)	85%
		この一年間に生涯学習施設を利用したことのある市民の割合	18.6% (平成27年度)	20%
3 文化財の保護・活用	重要な遺産として保護され、地域資源として市民に親しまれ活用されています。 資料館・博物館の利用及び文化行政事業に参加したことのある市民の割合	国指定	6(1)件	9(5)件
		県指定	12件	13件
		市指定	48件	49件

### 用語解説

生涯学習活動： 文化芸術、スポーツ、芸能活動、ボランティア、まちづくり、社会参加活動などの定期的な学びや取組

## 施策6-3 人権を尊重するひとづくり

### あるべき姿

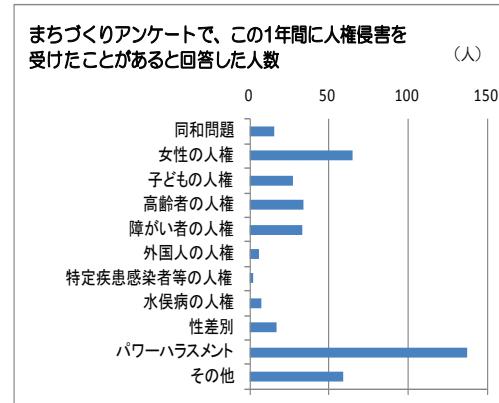
人権尊重の理念が根付き、差別や偏見のないまちになっています。

### 成果指標

指標名	現状値 (平成26年度)	目標値 (平成32年度)	説明
差別や偏見のないまちにならざる市民の割合	50.3% (平成27年度)	60%	まちづくりアンケートで「阿賀野市はすべての人に対して差別や偏見のないまちだと感じていますか。」の問い合わせに対し、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合です。

### 施策をとりまく環境変化と課題／施策の基本方針

- 急速な高齢化の進展に伴い、高齢者及び養護者への虐待が社会問題となっています。すべての高齢者が尊厳をもって暮らせるよう、生活相談・支援体制の充実を図ります。
- 障がい者に対する差別意識の払拭など「心のバリアフリー」が求められています。障がい者への理解と配慮を求める啓発や、障がい者が社会活動に参加する機会の充実を図ります。
- 子どもに対する人権侵害が深刻化しています。虐待やいじめなどの相談体制を強化するとともに、当事者に対する適切な支援を行います。
- 性別に関係なく個性と能力を十分発揮できる社会が求められています。男女共同参画の推進に向けた意識の啓発や、仕事と生活の調和が図られる環境を整備します。
- 同和地区出身者に対する差別や偏見は依然として解消されていません。同和問題に対する正しい理解を深めるため、学校や地域での啓発活動に取り組みます。
- DVや水俣病被害など人権侵略問題に対する正しい理解と認識を深めるため、人権教育・人権啓発を組織的に進めます。



出典：まちづくりアンケート（平成27年）

### 基本事業

基本事業名	あるべき姿	指標名	現状値 (平成26年度)	目標値 (平成32年度)
1 高齢者の人権擁護の推進	高齢者の人権が擁護されています。	高齢者虐待認知件数	21件	0件
2 障がい者の人権擁護の推進	障がい者の人権が擁護されています。	障がい者虐待認知件数	2件	0件
3 児童虐待やいじめ防止対策の推進	児童虐待やいじめが防止されています。	児童虐待認知件数 いじめの認知件数	25件 43件	0件
4 男女共同参画の推進	地域や家庭で男女が共に参画しています。	固定期的な性別役割分担意識を持つ市民の割合 家庭において男女共同参画を行っている市民の割合	34.4% (平成27年度) 39.9% (平成27年度)	30% 45%
5 同和問題の意識の高揚	同和問題を知っている市民が増えています。	同和問題を知っている市民の割合	31.9% (平成27年度)	45%
6 人権意識の向上	DVや水俣病への偏見・差別など様々な人権を意識して生活する市民が増えています。	水俣病に関する偏見・差別が存在することを知っている市民の割合 この1年間に人権侵害を受けたことがある市民の割合	51.9% (平成27年度) 17.8% (平成27年度)	70% 10%

### 用語解説

**同和問題：**日本の封建時代に形成された身分制度において、武士や農民・町民とは別の身分にされた人々が、社会的、文化的、経済的に低位の状態を強いられ、基本的人権を侵害されてきた我が国固有の人権問題で、今なお解消されていません。

## 施策6-4 開かれた市政の推進と効果的な情報発信

### あるべき姿

必要な情報が適宜提供され、情報公開や広聴等の仕組みにより開かれた行政になっています。  
情報発信が効果的に行われ、阿賀野市の知名度が上がっています。

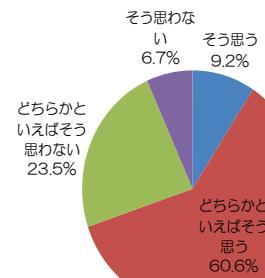
### 成果指標

指標名	現状値 (平成26年度)	目標値 (平成32年度)	説明
市からの情報提供に満足している市民の割合	88.5% (平成27年度)	88.5%	まちづくりアンケートで「市からの情報提供の『量』(不足等がないか)、『質や内容』について満足していますか。」の問い合わせに対し、「満足」「やや満足」「ふつう」と回答した市民の割合です。
市からの情報発信や広聴等により、開かれた行政になっていると感じる市民の割合	69.8% (平成27年度)	70%	まちづくりアンケートで「市からの情報発信や広聴等により開かれた行政になっていると思いますか。」の問い合わせに対し、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合です。
阿賀野市の知名度	県内順位 17位 (平成25年度)	15位	(株)ブランド総合研究所が実施する『地域ブランド調査』の認知度の新潟県内20市における順位です。
	全国順位 804位 (平成25年度)	700位	(株)ブランド総合研究所が実施する『地域ブランド調査』の認知度の全国調査対象市町村における順位です。

### 施策をとりまく環境変化と課題／施策の基本方針

- 市政の情報の伝達手段として、重要な役割を担う広報紙やホームページについては、より見やすく、分かりやすい内容での提供に向けて取り組みます。
- 各種媒体も活用して、観光情報などの情報発信を強化します。

市からの情報発信や広聴等により、開かれた行政になっていると感じる市民の割合



出典：まちづくりアンケート

### 基本事業

基本事業名	あるべき姿	指標名	現状値 (平成26年度)	目標値 (平成32年度)
1 情報提供の充実	各種媒体から提供される市政情報を定期的に見ています。 必要な市政情報をいつでも容易に取得できるようになっています。	広報紙で定期的に市政情報を見ている市民の割合	70.1% (平成27年度)	70%
		ホームページの内容充実度	72.5% (平成27年度)	75%
		年間ホームページアクセス数	***** 178万回	
2 広聴活動・情報公開の充実	市民の考え方や意向等を伝えることができます。 情報が適切に公開されています。	広聴等による意見・提案・質問数	71件	74件
		不服申立てによる情報公開決定件数	0件	0件
3 情報発信の強化	阿賀野市の魅力を理解し、阿賀野市への居住・観光を勧めたことのある市民の割合 多くの魅力発信により、阿賀野市について知り、移住・定住の相談をする人が増えています。	この1年間で知人・友人に對し、阿賀野市への居住・観光を勧めたことのある市民の割合	15.7% (平成27年度)	20%
		移住・定住窓口相談件数	***** 20件	
		移住・定住ホームページアクセス数	***** 50,000回	